



2011年に吹田市で撮影されたキツネ



2007年に交通事故で死亡（新千里西町2丁目）

## 2014年度 第2回自然学習講座

# 吹田のキツネと自然

この度発表された「大阪府レッドリスト2014」において、キツネは哺乳類の中で絶滅危惧Ⅰ類という、もっとも危ういランクとなりました。今回は、長年にわたり環境省環境カウンセラーとして自然保全活動をされている講師をお招きしました。

豊中のキツネは、1998年6月に少路で撮影され、「生きていた豊中のゴン」と話題になり、新修豊中市史に写真等が記載されました。その他2007年10月、新千里西町2丁目で痛ましい交通事故で死亡（雌）。2008年10月には、東泉丘3丁目のマンション建設の土地開発の為、親キツネ2匹と子キツネ2匹が竹林内の巣穴を塞がれて住処を追い出され、生息場所は未確認です。おとなりの吹田市のキツネはどのように生きているのでしょうか。皆様お揃いでお越しください。

◆日 時：2014年12月21日（日）  
14：00～16：00

◆場 所：豊中市立中央公民館3階  
（阪急曽根駅下車、東へ徒歩5分）

◆講 師：高畠 耕一郎さん  
（（公財）大阪自然環境保全協会吹田自然観察会）

◆定 員：40名 参加費：無料

◆その他：当日会場でも受け付けます。  
保育はありません。公共交通機関をご利用ください。



◆申し込み・問い合わせ◆  
とよなか市民環境会議アジェンダ21  
TEL：06-6844-8611（環境交流センター）

主催 NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会  
（この事業は環境交流センターの指定管理事業として開催しています）